

2011 夏

ベトナム総合研修プログラム

研修日記

リベラルアーツ学群

国際協力専攻 4 年

川上恵里

2011.8.25 研修 1 日目

ベトナムでの驚きと発見

今日はついにベトナム研修当日です。朝 10 時、ベトナム航空の飛行機でベトナム南部の都市、ホーチミンへ飛び立ちました。ベトナムまでは飛行機で約 5 時間です。実際はもう少し早く着いた気がします。ベトナムのホーチミン空港到着後、ガイドのピンさんと車でホテルまで移動しました。私は、今回の研修で初めてのベトナムだったのですが、一番驚いたのがベトナムのバイクの多さでした。旅行本でもその多さについて書かれてあったので、心の準備はしていたのですが、目の前に現れるバイク、バイク、バイクには本当に驚きました。バイクといってもスクータータイプが主流で、私が見た限りだと二人乗りが多かったです。



ホテルで荷物を置き、夜ごはんまで自由時間ということで他の研修メンバーと一緒に、事前にサーチしていたホーチミンで有名なベントイン市場に行きました。ここには服、食べ物、雑貨、お土産などなんでも揃っていてとても大きな市場でしたが、ベトナムらしいものは特に見当たらなかったように思います。ベトナムのサンダルやアクセサリ類はここで買うことができますが、私はまた別のところで買おうと、何も買わずにホーチミン市を散歩してホテルに戻りました。

ベトナムでの初めてのご飯はディナークルーズでした。伝統音楽を聞いたり、ファイヤードンスを見たりしながら、美味しいベトナム料理を頂きました。帰りは先生と数人の生徒でホテルまで歩いて帰りました。昼に散策を少ししましたが、夜は景色が違います。バイクの量は昼よりも多く、たくさんのバイクのライトが道を照らすので日本とは違う光が綺麗でした。こういう発見もバスで直接ホテルに帰らず、散歩して帰ろうという先生の提案に賛成したからです。海外に行き、消極的な態度ではいろいろな発見のチャンスを逃してしまいます。私は初日から多くの発見ができました。

2011.8.26 研修 2 日目

企業見学~ベトナムの工場労働者~

今日は午前と午後に 1 社ずつ企業見学に行きました。1 社目は日系企業の「タカコ社」です。油圧ポンプなどを扱う会社で、工場見学をした際にいろいろ見せて頂きました。タカコ社で説明と案内をしてくださったのが副社長のベトナム人女性でした。私の偏見かもしれませんが、ベトナム人女性で管理職レベルの役職に就いている人はいないのではないかと考えていたため、とても驚きましたが、今は女性の大卒なども増えてきており、あまり珍しくないのだそうです。優秀な女性が活躍していきだろうと話していました。

午後は台湾系企業の梱包材を取り扱っている会社でした。この工場では女性が全体の 3 分の 2 の割合で働いているそうです。そして品質管理はすべて女性が担当していると教えて下さいました。私はこの工場で働いている青年たちがとても幼く見え、小学生か中学生くらいなのではないかと疑問に持ったのですが、彼らはちゃんと中学を卒業してきた子たちであることがわかりました。児童労働が行われているのかと不安になったのですが、ベトナムの青少年は幼く見えてしまうのだと、研修プログラムの先生である、ド・マン・ホーン先生に教えて頂きました。



散策&思い出になる体験

企業見学は夕方に終わり、ホテルに到着してからはフリータイムです。今日の夜ごはんは自分たち各自で取るようになっていたので、私と研修メンバー3人は、ガイド本に載っているベトナム風サンドイッチを夜ごはんすることにしました。同じ道を行ったり来たり、道を聞きながらやっとの思いで到着し、ベトナム風サンドイッチ、バイン・ミーを食べることができました。さて、ご飯の後は買い物です。今日はちゃんと目をつけていた、お土産屋が多く売っているショッピング・センターに行きました。私は研修 2 日目にも関わらず、ほとんどここで土産を買いそろえてしまいました。ベトナムコーヒーや、お茶、お菓子を安く買うことができました。そしてホテルに戻ろうと外にでたら大雨。スコールです。歩いては帰れる状況ではなく、人が雨宿りしているビルの前でどうしようと困っていたら、ビルの前でタクシーの案内をしていた現地の方に助けられ、無事にホテルに戻れました。現地のタクシーにも乗れたし、スコールを楽しんだ夜でした。

2011.8.27 研修 3 日目

ベトナム 水辺の旅

今日は観光 DAY です。ホーチミン市内のホテルから車で 1 時間ほどのところにある、メコンデルタのミトーという小さな街に行きました。メコンデルタは、ベトナムを構成する地方の一部であり、ホーチミンよりもさらに南部に位置しています。ミトーは古くからサイゴンとメコンデルタへの入り口として知られている港町です。私たちはここでメコン川クルーズを体験しました。まずは大きな船に乗り、メコン川についての説明を受けつつ、小さな島に向かいました。東南アジア最大の大河であるメコンは中国、ミャンマー、タイ、ラオス、カンボジアを流れてベトナムの大地にたどり着きます。そして、大量の土砂を蓄積しながら南シナ海に注ぎ込み、河口部は 9 つの支流に分かれていることから地元では「九龍(クーロン)」と呼ばれている、と教えて頂きました。

小さな島ではココナッツを使ったキャンディーを作っていて、お土産として販売していました。また、この地域でたくさん採れる果物などを振舞って頂きました。そしてメコン川の川下りです。4 人乗りのボートにそれぞれ乗り込み、船頭さんに舵を取ってもらいながら 15 分ほどの川下りを楽しみました。ミトーは、ホーチミンとは全く違う大自然の風景で身も心も癒されました。そして昼食はミトーの名物料理である「象耳魚」を食べました。体長 30cm ほどの川魚がまるごと唐揚げにされているもので、身をライスペーパーに包んで食べます。このほかにも、網目のライスペーパーを使った揚げ春巻きや、バイン・セオというベトナム風お好み焼きも食べて大満足でミトーを後にし、ホーチミンに戻りました。

夕食は車で 10 分ほどのところにあるレストランで食べました。毎日美味しいベトナム料理ばかりなのでいつも楽しみにしています。今回はお昼にたくさん食べたので、さっぱりしていて、少量のフォーと生春巻き、チャーハンや野菜炒めを食べました。食後はまたホテルまで希望者は散策して帰りました。途中、オシャレな café があったので先生の御馳走でコーヒーを一杯頂きました。一時間ほどおしゃべりしてからホテルに戻り、明日の交流会で使うパワーポイントの最終訂正を 3, 4 年で行い、就寝。今日も濃い一日でした。



2011.8.28 研修 4 日目

ベトナムの大学生と交流会

今日はホーチミン市国家大学・日本語学研究科を訪問し、ベトナムの大学生と交流しました。私たちの他に、沖縄や関西の大学に通う学生とも一緒に交流し、楽しい時間を過ごすことができました。ベトナムの学生と日本の学生それぞれがプレゼンテーションして、お互いの国の大学生の生活について話し合いました。お昼はベトナムの学生と一緒に大学近くのレストランへ。30人以上が集まってのお昼ご飯は楽しく、料理もとても美味しかったです。それから、私たち桜美林の学生はベトナムの学生に市内の観光地を案内してもらいました。まず、初めに行ったのが統一会堂です。ここは南ベトナム時代の旧大統領官邸です。解放軍がこの敷地内に突入したことにより、ベトナム戦争は終結を迎えたのだという説明してくれました。次に向かったのが聖母マリア教会です。外観もとてもきれいですが、教会の中もステンドグラスがあり、とても幻想的でした。最後に向かったのが中央郵便局です。この郵便局はとても外観からでは郵便局とはわからないほどの壮麗な建物です。ベトナムは19世紀半ばから約30年間フランスの統治国家だったので当時のフランス風建造物などがそのまま残っていました。こういった建造物があることはガイド本を読んで知識は、多少はありましたが、実際に見るのではやはり違います。今回のベトナム研修ではまだまだ多くの体験をしましたが、百聞は一見にしかずということわざがあるように、事前研修よりもベトナムに来てからのほうが気づくことや考えることが多かったのです。ですので、これからも自分で行動して直接感じることを大切にしていきたいとこのベトナム研修を通して改めて感じました。



この日は夕方ホテルをチェックアウトして次の研修地であるベトナム南部のダナンに向かいました。飛行機で1時間ほどの距離で空港到着後はそのままホテルに向かい、長い一日が終わりました。

2011.8.29 研修 5 日目

ミーソン遺跡で歴史を学ぶ

新しい研修地の初日は観光から始まりました。朝早くホテルを出発し、バスで約 2 時間かけて世界遺産であるミーソン遺跡に行きました。ミーソン遺跡はチャンパ王国の聖地跡です。チャンパ王国とはベトナム中部沿海地方に存在した王国で、今日のベトナム中部南端に住む人々の直接の祖先とされているとガイドの方に教えて頂きました。ミーソン遺跡の歴史は、もともと 4 世紀後半にチャンパの王がシヴァ神(ヒンドゥー教の破壊と創造の象徴)を祀った木造の祠堂を建てたことに始まります。これが火災により焼失し、7 世紀にレンガを使って再建しました。初期のものは失われて、また、ベトナム戦争中に米軍機の爆撃に遭い、破壊されてしまった部分が多いという話も聞きました。それでもだいたい 70 を超える遺跡群が存在します。写真は遺跡が全般的にきれいに残っている場所で撮影しました。



*世

界遺産の街を散策&歴史を学ぶ*

午前中たっぷりミーソン遺跡を探索した私たちは、旧市街全体が世界遺産に指定されている、ノスタルジックな街並みが魅力のホイアンに行きました。旧市街内で昼食をとり、海のシルクロード博物館、来遠橋、フンフンの家などを回りました。自由時間は少ししかなかったため全体を回ることではできませんでしたが、なんとも言えない街並みがさすが世界遺産に指定されるだけはあると感じましたし、もっとゆっくり一日かけて回るのも最高の街だと感じました。ホテルに帰る途中に刺繍の商品を作っている工場兼お店に立ち寄り、女性たちの素敵な刺繍の作品ができるまでを見学し、ホテルに戻りました。このホイアンでは、都市とはまた違ったベトナムの姿が見られたように思います。



2011.8.30 研修 6 日目

ダナンの大学生と交流~忘れられない体験~

今日はとても早い朝でした。ダナン外国語大学日本語学科の授業見学が午前の予定なのですが、ベトナムの大学の授業がとても早く、1限は7時台に始まるそうです。さすがに私たちはその時間から参加は難しかったので、8時30分には大学に行き、日本語学科の先生とお会いしてすぐに授業に参加しました。授業では私たち日本の学生が一人ずつ各テーブルに入り、8グループでそれぞれ日本語の会話を楽しみました。私は、この研修に参加する前に、あいさつや自己紹介などの簡単なベトナム語を先生に教わって来たのですが、きちんと復習をしなかったため忘れてしまい、ベトナムの学生との会話はずっと日本語でした。日本語学科の生徒たちなので日本語の会話のほうが良いのかもしれませんが、私が少しでもベトナム語を話すことができていれば、ベトナムの大学生との心の距離をもっと近づけることができたのではないかと思います。とても悔しかったです。こういった研修ではなおさらですが、個人でどこかの国に旅行に行く際も、ある程度の基本的な言語は絶対学んでいくことがとても大切だと感じました。

昼食をとるため一度ホテルに戻り、軽く食事をしてまたダナン外国語大学へ行きました。14時からある交流会に参加するためです。最初にベトナムの男子学生が森山直太郎のさくら(独唱)をうたってくれたのですが、鳥肌が立つほどとても上手で、感動で泣きそうになったほどです。続いて、女子学生2グループがダンスを披露してくれました。出し物の後はゲームです。目隠しをしてバナナを食べさせるゲームや目隠しをして相手の服についている洗濯バサミを取るゲームなどユニークなものばかりでとても盛り上がりました。このゲームはすべて自分たちで考えたそうです。そして、ベトナムの歌を教えてもらい、日本人みんなで覚えて歌って、とても楽しい時間を過ごしました。たくさんの歌のプレゼントがあったので私たちも歌でお返ししました。日本人なら誰でも知っているし、世界中の日本が好きな人々は知っているであろう、SMAPの世界に一つだけの花を歌いました。みんなとても喜んでくれたので良い思い出になったかなとうれしく思いました。

夜はこの交流会で話しかけてくれた女の子と一緒にご飯を食べにいきました。友達を何人か連れてきてくれて、私ともう一人の日本人研修生をバイクに乗せて、ダナン市内やダナンの夜景が一望できるcaféなどに連れて行ってくれました。ベトナムにきてバイクに乗せてもらったのは後にも先にもこれが最後でしたが、本当に現地の学生に貴重な体験をさせてもらいました。かなり充実した自由時間でした。



2011.8.31 研修 7 日目

ベトナム企業見学~女性労働者のサポート体制~

今日の午前は繊維・アパレル会社の見学をしました。ホーチミン市で行った企業は日系、台湾系の企業で外資系企業の見学だったのですが、今日見学に行った企業はベトナムの会社で、ダナンの地元の人々が働く企業だったので、最初の2社よりも雰囲気は若干違ったように感じました。このベトナム企業 HOA TOH は南の大統領の奥さんの会社だったのが、75年、76年の統一後に国有化された企業なのだと話してくださいました。そしてアパレル系企業なので女性が全体の85%おり、平均年齢は28歳だとおっしゃっていました。実際に工場内を見学した際も、女性が多いということに気づき、また妊婦さんも非常に多かったです。妊婦さんへのサポートもあり、必ず5カ月は産休を取ってもらうのだそうです。また、子どもが5カ月~1歳までの期間は給料20%UPという経済的サポートも行っているとおっしゃっていました。こういったサポートがあるからこそ、地元の企業として成長していけるのだなと感じました。工場では、繊維を糸にしていく、いくつもの工程を見学させて頂き、そのあとは布を裁断し、ズボンが仕上がるまでの工程も見学させて頂きました。



最後のダナンを友人と。そしてハノイへ

午後は昨日、盛大に歓迎してくれたダナン大学の学長さんとお話をし、学長さんにダナンで有名な料

理を教えて頂き、みんなで食べました。その後は2時間ほど自由時間でした。昨日ダナンを案内してくれた女の子の家に招かれていた私と友人はタクシーで彼女の家まで行き、30分ほどしか時間はありませんでした。昨日の御礼やこれからも友達としてよろしくという話をしてホテルに戻りました。さてこれからいよいよ最後の研修地であるベトナムの首都、ハノイに行きます。ダナンに別れを言い、約1時間の飛行機の旅でついにハノイに到着しました。ホテルで荷物を置いてからすぐに夕食です。ホテルの部屋がとても広かったので気分がハイになり、そのテンションのまま美味しいベトナム料理をたくさん頂きました。普通の2倍、3倍美味しかったです。量が多くとても全部は食べきれませんでした。大満足な夕食でした。残りの研修も頑張ろうと意気込み、ホテルに戻りました。

2011.9.1 研修8日目

国際協力の観点から見るベトナムの教育

ハノイ研修の一日目は企業訪問です。今回もホーチミン市同様一日に午前と午後で2社訪問しました。午前に訪問したのは「アジア開発銀行」です。ここではベトナムの教育の分野について東南アジア局ベトナム事務所の伊澤映子さんにお話して頂きました。アジア開発銀行は世界銀行よりも下に位置づけられ、国連よりも少し上の位置で開発支援を行っている団体だと伊澤さんはおっしゃっていました。ベトナムはとても教育に対する意識が高く、順調な進展状況にあるそうです。小学校の100%就学はほぼ達成されており、中学校の就学率も他の途上国に比べて高いのだそうです(92%)。日本では教育に当てるお金は全体の4%程度なのに対し、ベトナムでは20%のも金額を当てて改革を行っているのだそうです。またベトナムでは中学校までの学費はかからず、さらに貧しければ高校の学費も免除になるのだとおっしゃっていました。こういった現状のもと、さらに学校のレベルを上げていくために教師のレベルを上げていくプロジェクトなどに対する金銭的支援をこのアジア開発銀行では行っていると話してくださいました。

私は国際協力を専攻して大学で学んできたので、途上国の教育にも関心があったので伊澤さんにいろいろお話を伺い、国際協力の分野で仕事するにはという話も聞けました。伊澤さんは留学して教育の分野を学び専門家になりました。彼女は「とにかく若いうちは学びなさい」とおっしゃっていました。今回、伊澤さんのお話を聞いて改めて日本の教育というものを勉強してちゃんと知りたいと思い、また、国全体を考えての支援やサポートがいかに大変なことを思い知りました。ベトナムは成功例として挙げることもできるかもしれませんが、他の国ではここまでうまくいくかどうかわかりません。教育がその国にとっていかに大切なことが改めてわかった訪問でした。

ベトナムの経済を学びハノイ市散策

昼食後はJETRO-日本貿易振興機構-ハノイセンターを訪問しました。ここではベトナムの経済についてお話を頂きました。ベトナムに日本をはじめとする他国の企業が工場を作るメリットや現在のベトナムは発展途上国としてまとめることにだんだん抵抗を感じるほどの他の発展途上国との経済的格差に

ついてお話をいただきました。私自身もベトナムは発展途上国ではないが日本、韓国、中国とかたを並べて呼ぶ位置でもないのではないかと考えていました。研修に同行してくださっている先生もベトナムは中進国という位置にいるだろうとおっしゃっていました。私は他のいわゆる発展途上国である東南アジアの国に行ったことがないため比較ができないのですが、春休みのプログラムであるインド・バングラデシュの国際協力研修にも参加し、もっといろいろな国をみて自分なりに比較し考えていきたいとこの訪問を通しておもいました。

企業訪問終了後は自由時間です。市内を散策し、スーパーやお土産屋に立ち寄って写真を取り、午前午後と頭を使った分、自由時間はのんびり過ごしました。ハノイの夜はホーチミンやダナンと違い、活気があるものでした。また、ハノイは首都だからなのか車も多く走っていました。こういった小さな発見もベトナムを3都市回ったからこそだと思いました。

2011.9.2 研修9日目

世界遺産観光~ハロン湾~

今日は早朝出発でした。ハノイ市からバスで約2時間のところにある観光名所、世界遺産のハロン湾に向かいます。ハロン湾に行く前に伝統工芸村であるバチャンに行き、バチャン焼きの製造工程を見学し、お土産をいくつか購入しました。それから長いバスの旅です。7時30分にホテルを出発し、ハロン湾クルーズの船乗り場に到着したのは13時でした。船は私たちだけの貸し切りでした。乗ってすぐに昼食が運ばれてきたので、昼食をとりつつ絶景のハロン湾に向かいます。昼食はシーフードが中心でどれもとても美味しかったです。そうこうしているうちに船は翡翠色の静かな海面に大小2000近くの奇岩がそびえたち、幻想的な風景を織りなしているところをゆっくり進んで行きました。ハロンという地名は漢字で「下龍」と書き、「龍が降り立った場所」という意味なのだそうです。“昔、この地が外敵の侵略に苦しんだときに、龍の親子が空から舞い降り、敵に宝玉を放って見事に侵略を食い止めた。その宝玉が大小の奇岩に姿を変え、その後も外敵の侵略を防いだ”との言い伝えによるものだとガイド本にも書かれてありました。そして私たちは鍾乳洞の中へ。いろいろな形に見える鍾乳洞をライトアップしているので本当に綺麗でした。鍾乳洞をバックに集合写真も何枚か撮り、船に戻りました。



ゆっくりできるハノイ最後の夜

ハノイ市までまたバスで2時間の長旅でした。途中、お土産休憩を経てハノイ市到着です。ホテルには戻らずそのまま夕食のレストランへ行きました。首都のレストランだからなのか、ベトナムで今まで行ったどのレストランよりも良いサービスでした。ゆっくりできる最後の夜だったので、ハノイビールを注文したのですが、記念に空きビンを持って帰ろうとしたら、ビンを持って帰ってはダメとのこと。残念に思っていたら、ハノイビールと書かれてビンに張られているシールを綺麗にはがして持ってきてくれました。そんな気配りサービスに大満足しました。また、料理もとても美味しかったです。ベトナムの料理は私の口に合うものばかりで、食べられないものはなかったように思います。夕食後はまた先生と数人で散歩しながらホテルに帰りました。9月2日はベトナムの建国記念日だったため、夜でも人通りはとても多く、普段は中まで入れないホーチミンさんの墓も近くまで入ることができました。そこで記念写真を取り、帰りました。いろいろな偶然が重なり、貴重な体験だらけのベトナム研修です。

2011.9.3 研修 10 日目

ハノイ貿易大学の学生と交流&市内観光

いよいよベトナム最終日です。ホーチミン市にいたときは長い研修だと感じたのですが、ダナンに移動してからはなんだかあっという間に過ぎて、もう最後の日になってしまいました。さて、今日は午前中にハノイ貿易大学の女子学生3人と一緒にハノイ市内を案内してもらいました。あいにくの雨で移動は少し不便でしたが、私と友人のリクエストである、ベトナムの醤油(ヌク・ナム)を教えてもらいお土産として購入することができました。そして他の日本人学生リクエストのお土産も彼女たちの案内でそろえることができました。お昼までは時間があつたので近くのcaféでゆっくりお茶をしようという話になり、現地の人でないと絶対知らないような穴場caféに連れて行ってくれました。そこでみんなでおしゃべりし、日本に帰っても友達として繋がっていけるようにお互いメールアドレスなどを交換しました。それから近くのレストランで一緒に昼食をとり、みんなで写真を撮ってホテルに戻りました。



最後の伝統芸能鑑賞

午後はガイドさんと一緒に民族博物館と歴史博物館に行きました。ベトナムの54の民族が豊かな文化を紹介していて、少数民族の衣装や生活道具などの展示があり、彼らの生活をわかりやすく伝えていました。それから私たちはベトナムの伝統芸能である水上人形劇を鑑賞しました。水の上を舞台に繰り広

げられる人形たちのパフォーマンスはとても面白いものでした。そして夕食です。最後のレストランも綺麗なところでした。魚を揚げたものに甘辛いあんかけをかけた料理がとても美味しく、スープや最後のフォーもとても美味しく頂きました。ホテルに戻り、夜の飛行機の時間までの間はみんなで1室に集まり時間をつぶしました。それぞれの写真を見ているとみんなそれぞれいろんな経験ができたことがわかります。ベトナム研修ではとにかくたくさんの写真を撮りました。見返してみると1000枚はありました。先生も写真はたくさんとりなさいとおっしゃっていました。それはこうやって後から写真を見返した時にその時の状況や風景を鮮明に思い出すことのできる大切なツールであるからなのかなと思いました。また、日記も毎日書くことによって、私が今日の出来事で何に一番関心を抱いたかよくわかります。私は3年前から毎日、旅行の時に限らず日記を書いています。これは一日一日過ぎていく中で起こった小さな出来事を忘れないためです。急に続けることは難しいかもしれませんが、数年後に読み返した時、絶対に書いていて良かったと思うときがあると思います。

長いようで短かった私たちのベトナム研修は終わりました。夜12時の飛行機に乗り、日本時間9月4日の朝6時に帰国しました。